



2020年第1四半期 業績概要

～五大陸をつなぐ世界No.1ブランドをめざして～

ホシザキ株式会社

(証券コード:6465 東証第一部・名証第一部)

2020.5.11

HOSHIZAKI

目次

- I. 2020年第1四半期 決算概況 :P.02-14
- II. 2020年第1四半期決算のポイント :P.15-24
- III. 2020年12月期 業績予想 :P.25-27
- IV. 会社概要・事業内容 :P.28-33



I. 2020年第1四半期 決算概況

為替の前提

	19年第1四半期		20年第1四半期			
	実績		実績		業績予想(20.2.10)	
	期中平均	期末	期中平均	期末	期中平均	期末
米ドル	110.2	110.9	108.8	108.8	105.0	105.0
ポンド	143.6	144.9	139.4	133.3	137.0	137.0
ユーロ	125.1	124.5	120.1	119.5	120.0	120.0
シンガポールドル	81.3	81.8	78.6	76.3	80.0	80.0
人民元	16.3	16.4	15.5	15.3	15.7	15.7
デンマーククローネ	16.7	16.6	16.0	16.0	16.4	16.4
台湾ドル	3.5	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5
香港ドル	14.0	14.1	14.0	14.0	13.8	13.8
インドルピー	1.58	1.61	1.52	1.46	1.50	1.50
韓国ウォン	0.0981	0.0980	0.0914	0.0892	0.0920	0.0920
ブラジルリアル	29.2	28.4	24.5	20.9	27.9	27.9
インドネシアルピア	0.0078	0.0078	0.0077	0.0067	0.0076	0.0076
タイバーツ	3.4	3.4	3.4	3.3	3.5	3.5
マレーシアリングgit	26.9	27.2	26.0	25.1	26.0	26.0
ベトナムドン	0.0048	0.0048	0.0046	0.0046	0.0046	0.0046
フィリピンペソ	2.12	2.12	2.16	2.16	2.11	2.11

2020年第1四半期 決算概要

■ 売上高は725億円（前年同期比4.6%減）

- 国内：売上高 494億円（同2.2%減）
- 海外：売上高 231億円（同9.3%減） 海外売上高比率：31.8%（同1.6pt減）

※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出

- 国内は、前年の不適切取引の調査対応に伴う販売活動量の低下からの回復や、4月からの値上げ前の駆け込み需要があったものの、新型コロナウイルス感染拡大により販売先の設備投資抑制の影響を受け減収。顧客別では、飲食店や学校保育園等、一部の業種は好調に推移したものの、農林・水産業等、商店、加工販売などの業種では前年を下回る。
- 海外は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全てのセグメントにおいて減収。

■ 営業利益は95億円（同0.9%減）

- 国内：営業利益 72億円（同1.2%増） 国内営業利益率：14.6%（同0.5pt増）
- 海外：営業利益 24億円（同11.5%減） 海外営業利益率：10.6%（同0.3pt減）

※報告セグメント情報の「米州」「欧州・アジア」より算出

- 国内は、プロダクトミックスによる粗利率改善や前年の不適切取引の調査費用がなくなったことによる販管費減少の影響等を受け増益。
- 海外は、前年のホシザキアメリカにおける内部統制に関する調査費用がなくなったことにより販管費が減少したものの、減収効果により減益。
- 営業利益率は前年同期を上回る13.2%（前年同期は営業利益率12.7%）。

■ 経常利益は83億円（同18.8%減）

- 営業外損益に外貨預金等による為替差損15.7億円を計上（前年同期は為替差益0.1億円を計上）。

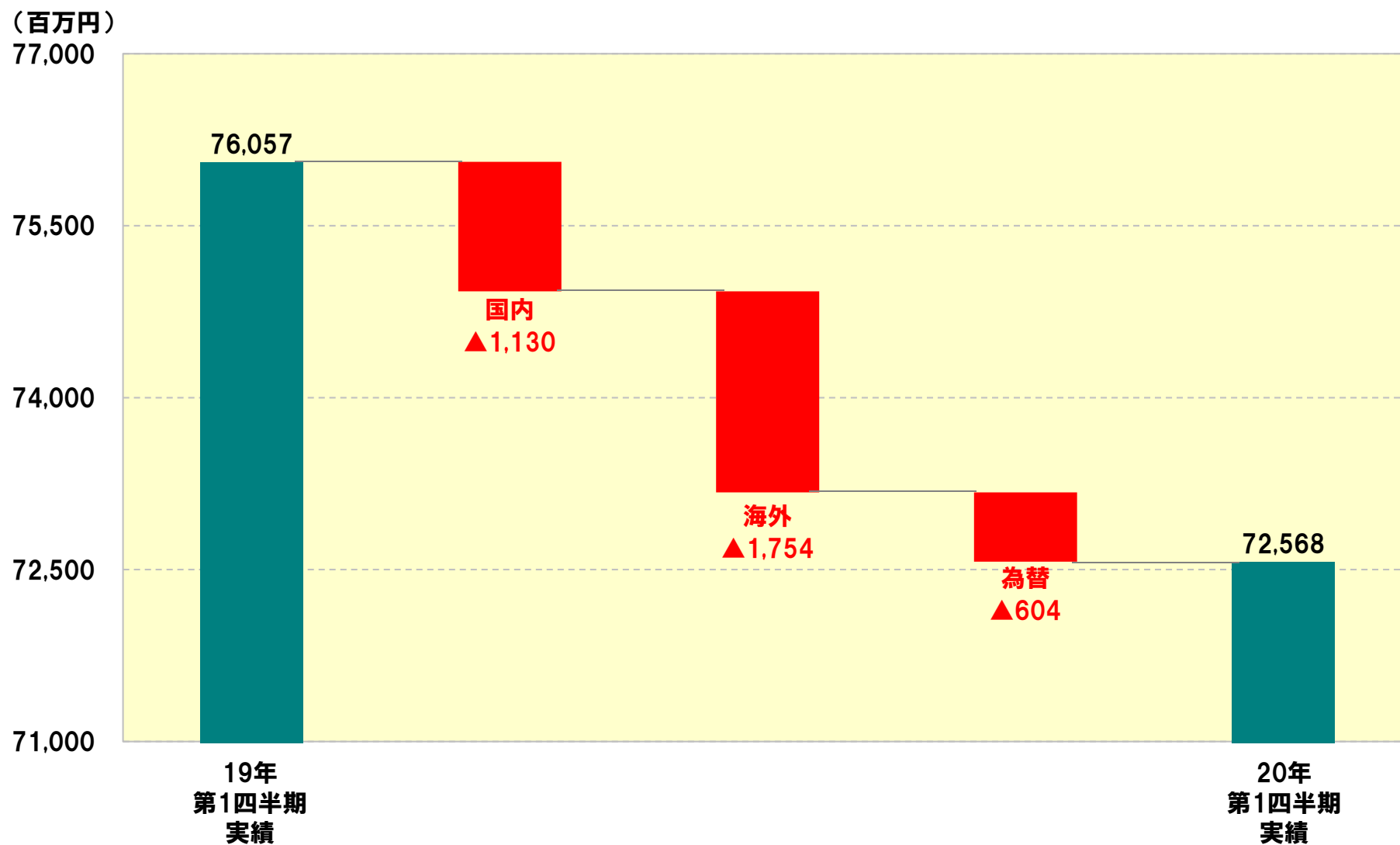
■ 親会社株主に帰属する当期純利益は55億円（同21.8%減）



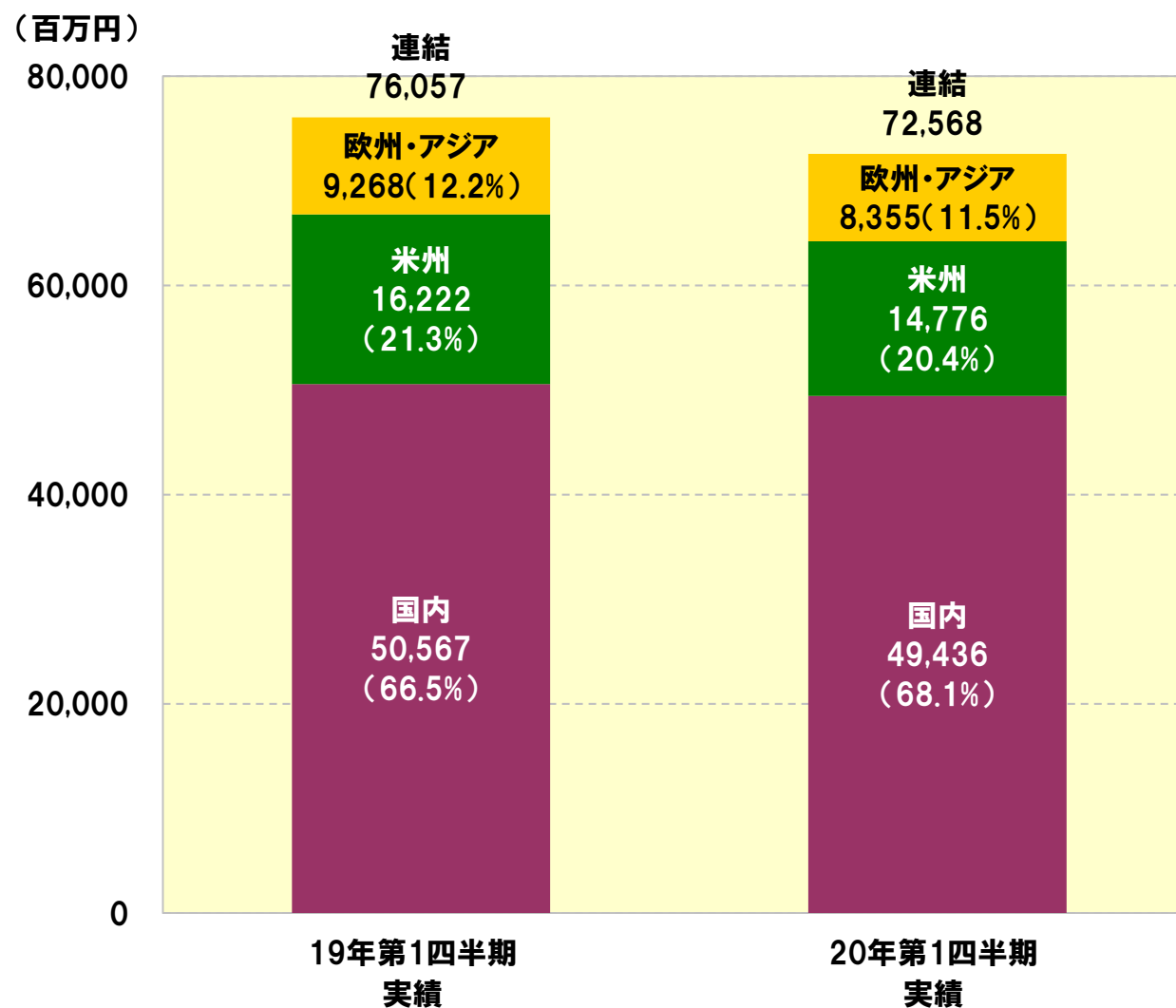
連結損益計算書

	19年第1四半期実績		20年第1四半期実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	率 (%)
売上高	76,057	100.0	72,568	100.0	-3,488	95.4
売上原価	47,566	62.5	44,482	61.3	-3,083	93.5
売上総利益	28,491	37.5	28,086	38.7	-405	98.6
販売費及び一般管理費	18,842	24.8	18,526	25.5	-316	98.3
営業利益	9,649	12.7	9,559	13.2	-89	99.1
経常利益	10,271	13.5	8,345	11.5	-1,926	81.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,041	9.3	5,503	7.6	-1,537	78.2

連結売上高増減要因(国内・海外)



報告セグメント別売上高の前年同期比較

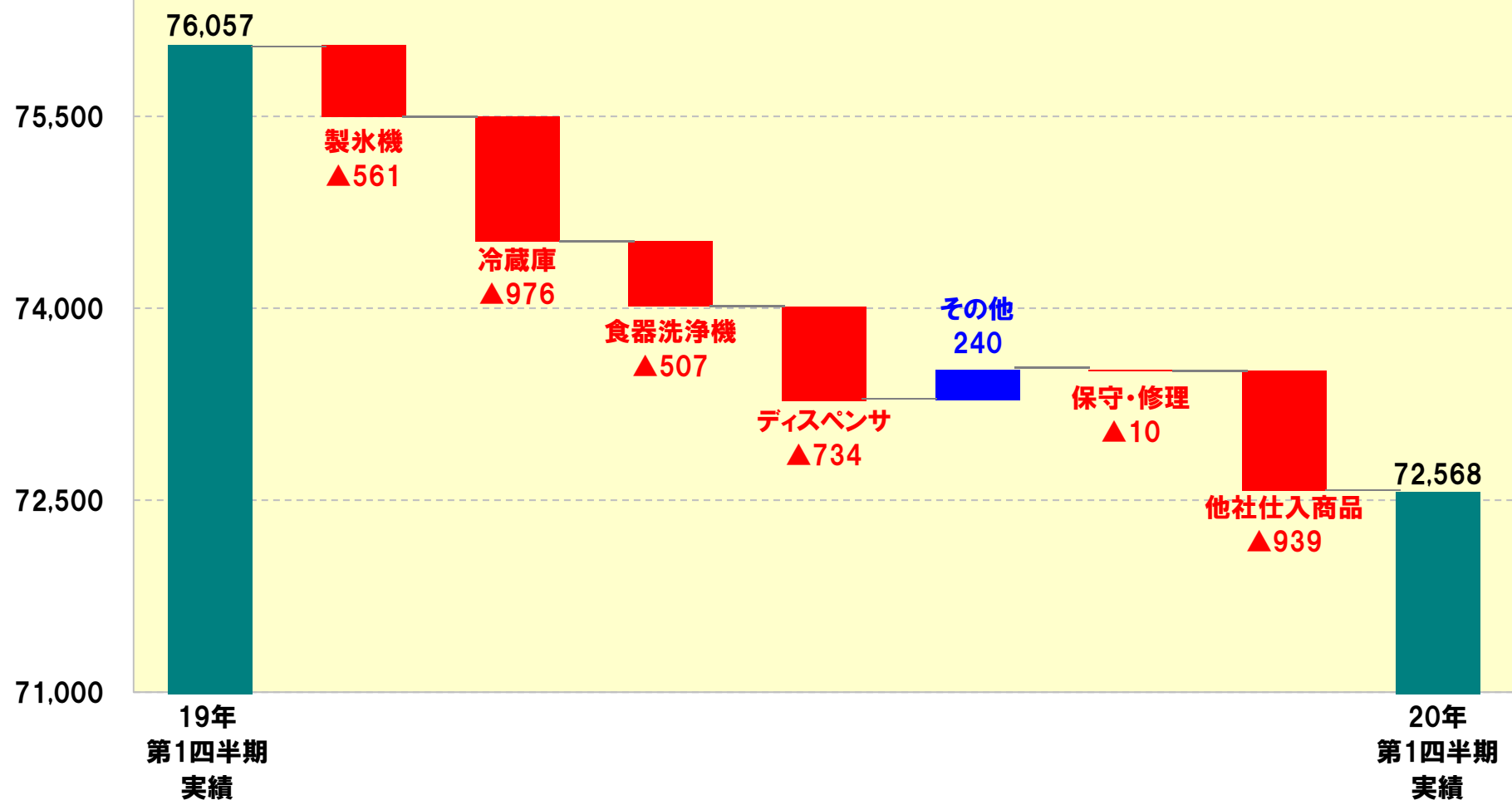


※()内は構成比を示す。
 ※本社所在地エリアで区分(例、ランサー欧州は米州に算入)
 (=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。

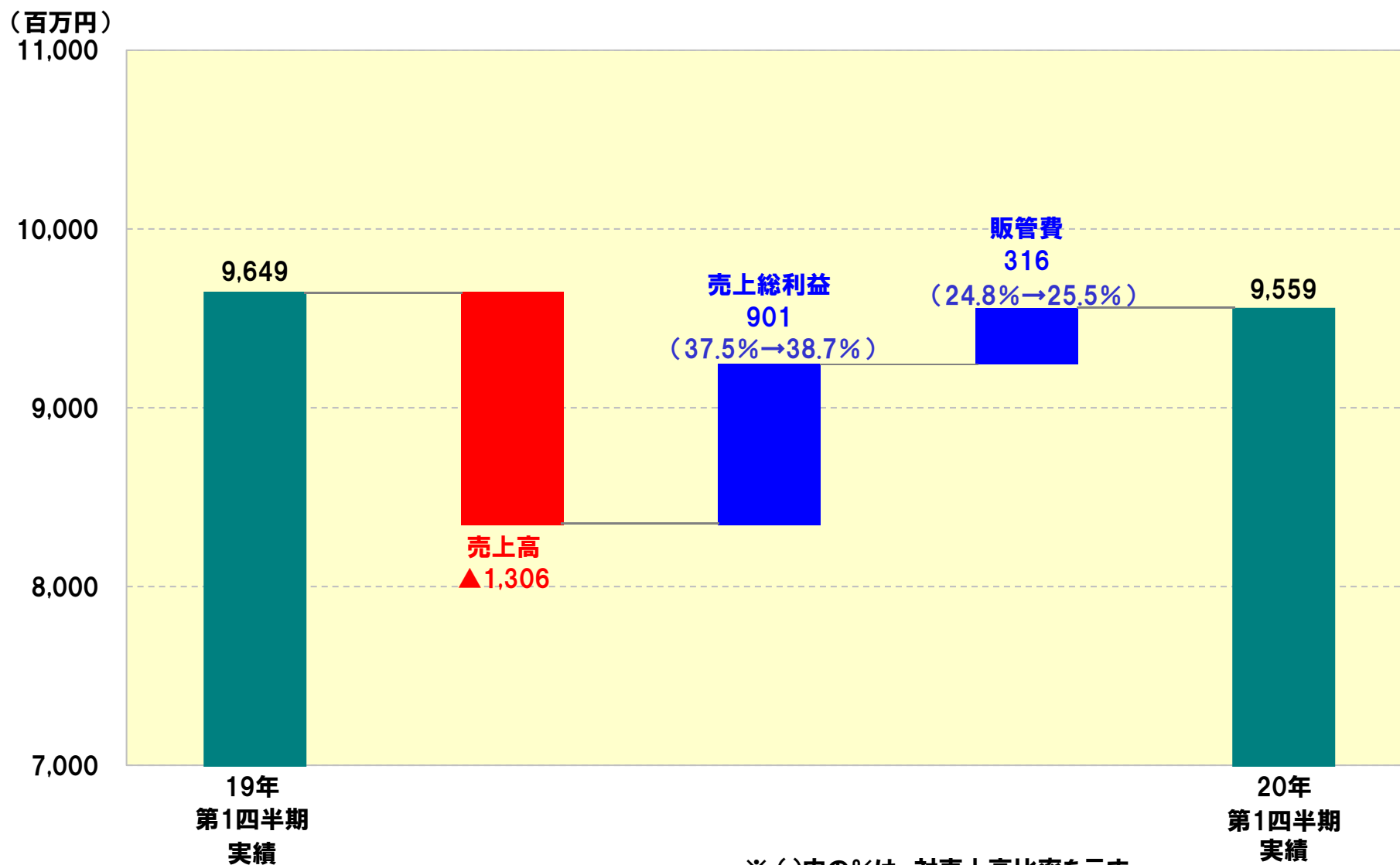


連結売上高増減要因(製品群別)

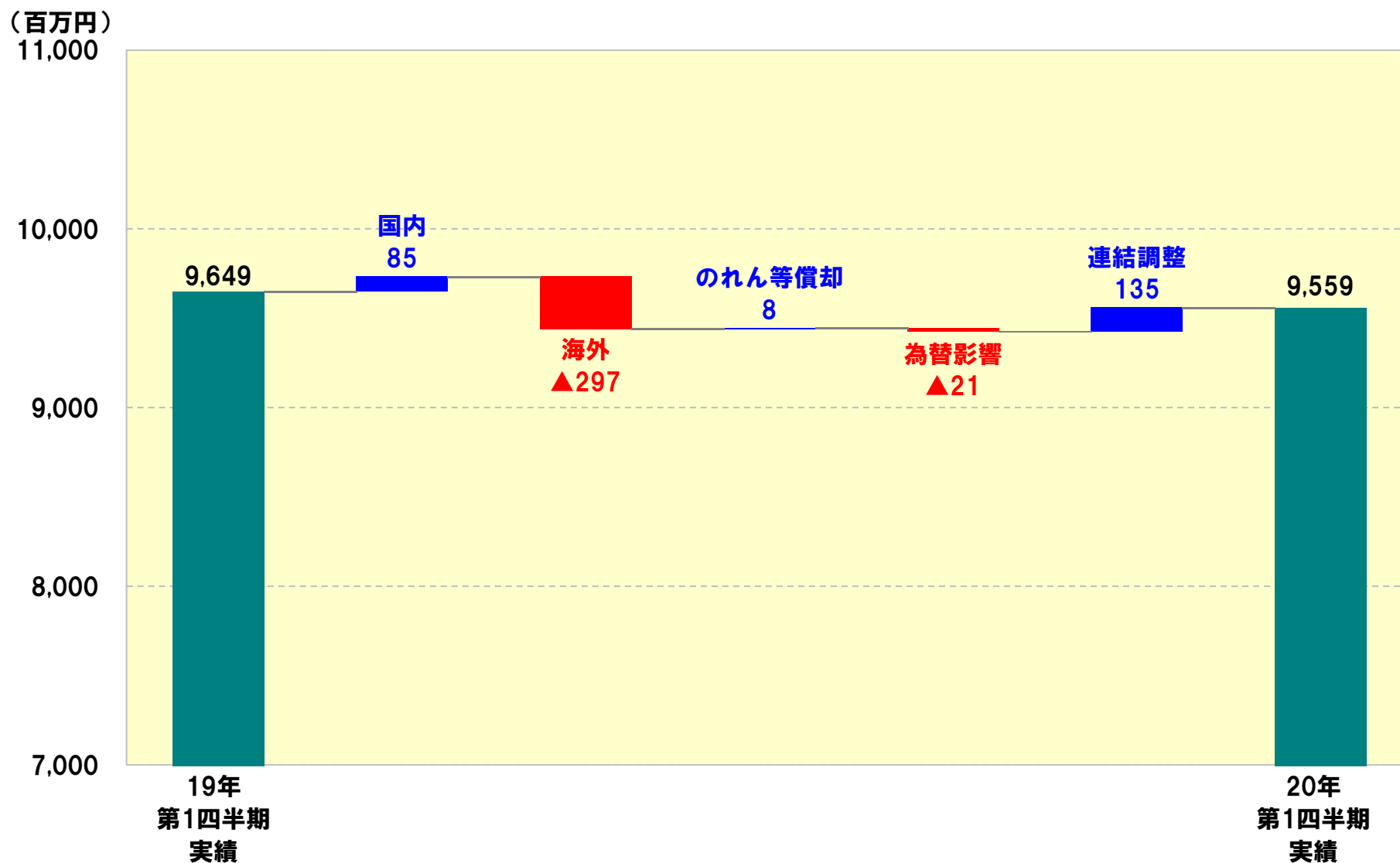
(百万円)
77,000



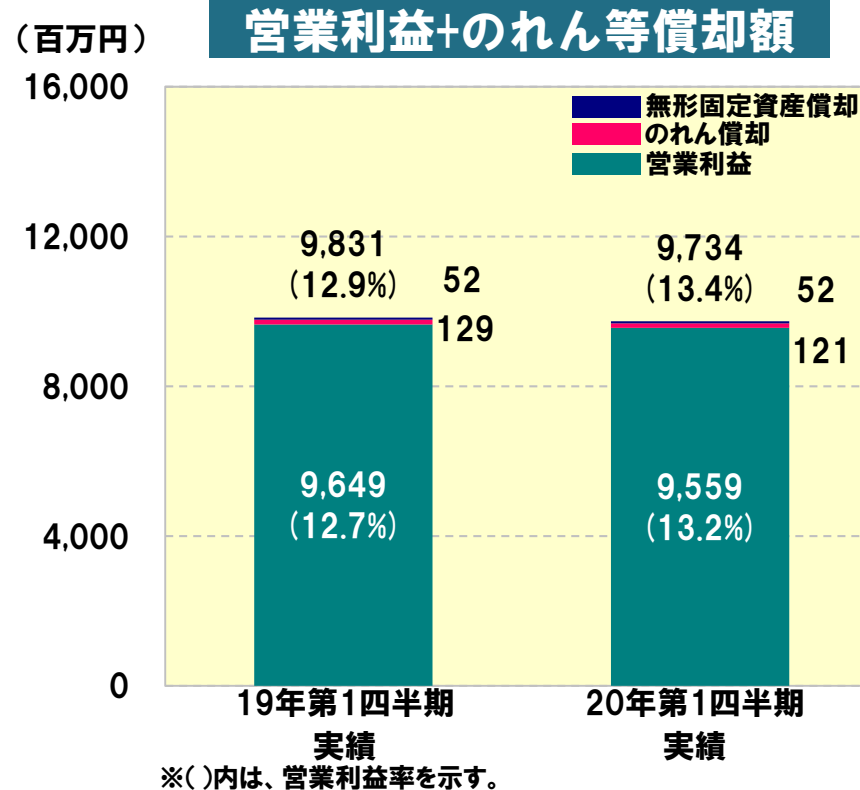
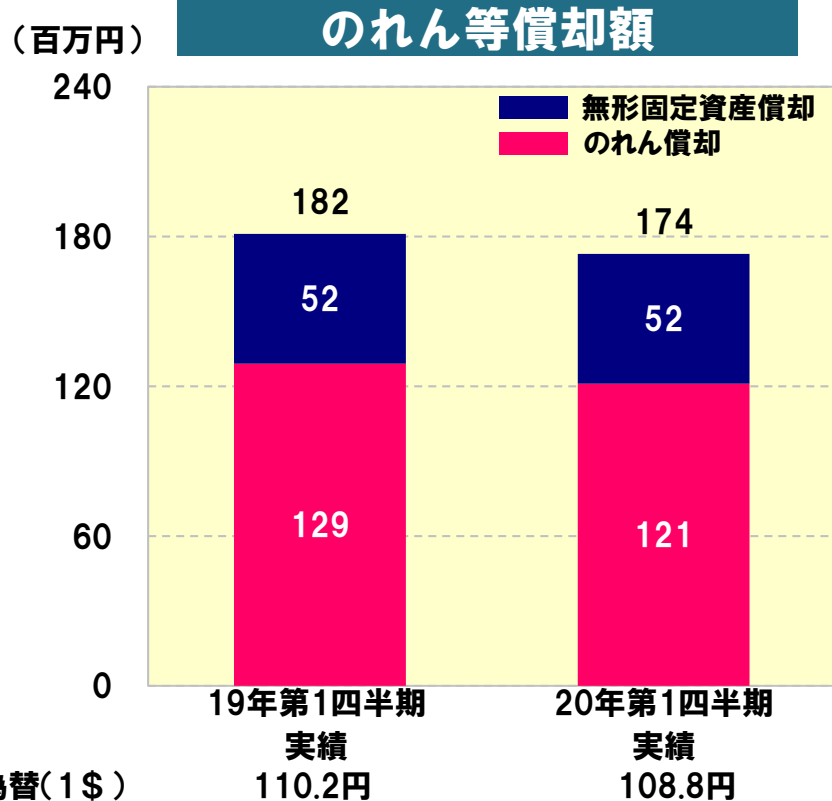
連結営業利益増減要因



連結営業利益増減要因(国内・海外)



のれん等償却額の影響

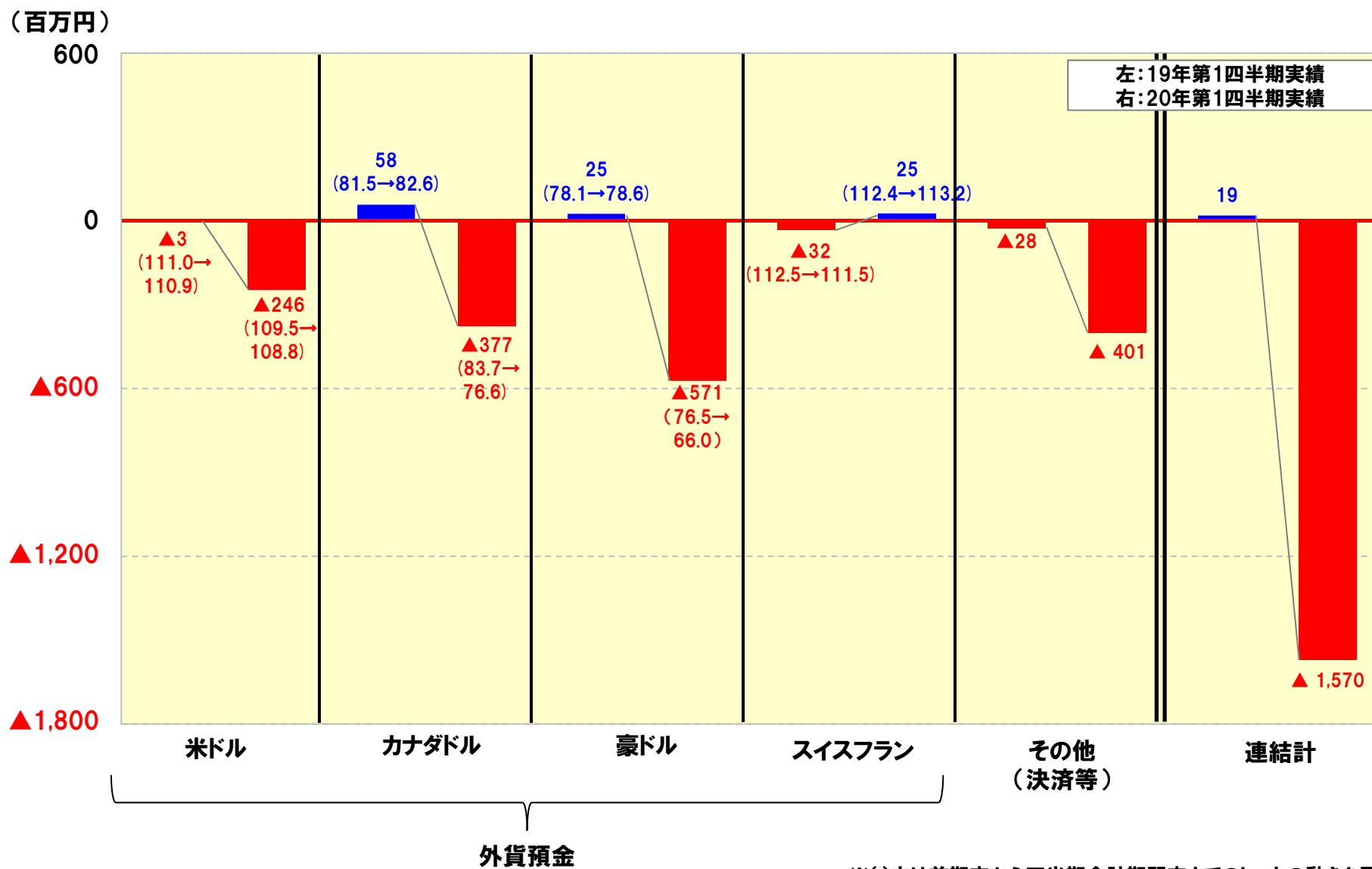


のれん等計上金額		のれん等減損金額	
・LANCER	(06年2月買収 : 17,451百万円 10年償却)	・Macom	(14年実施 : 3,186百万円)
・GRAM	(08年9月買収 : 6,759百万円 12年償却)		(15年実施 : 1,791百万円)
・Western	(13年1月買収 : 2,198百万円 10年償却)	・GRAM	(17年実施 : 1,800百万円)
〃	(〃 : 2,439百万円 16年持分追加取得分)		
〃	(〃 : 473百万円 18年持分追加取得分)		
・JACKSON	(13年1月買収 : 1,006百万円 一括償却)		
〃	(〃 : 2,020百万円 12年償却)		
・Macom	(13年7月買収 : 6,690百万円 15年償却)		

※計上金額は、買収時の為替レートにて算出。



為替差損益内訳



※()内は前期末から四半期末までのレートの変動を示す。



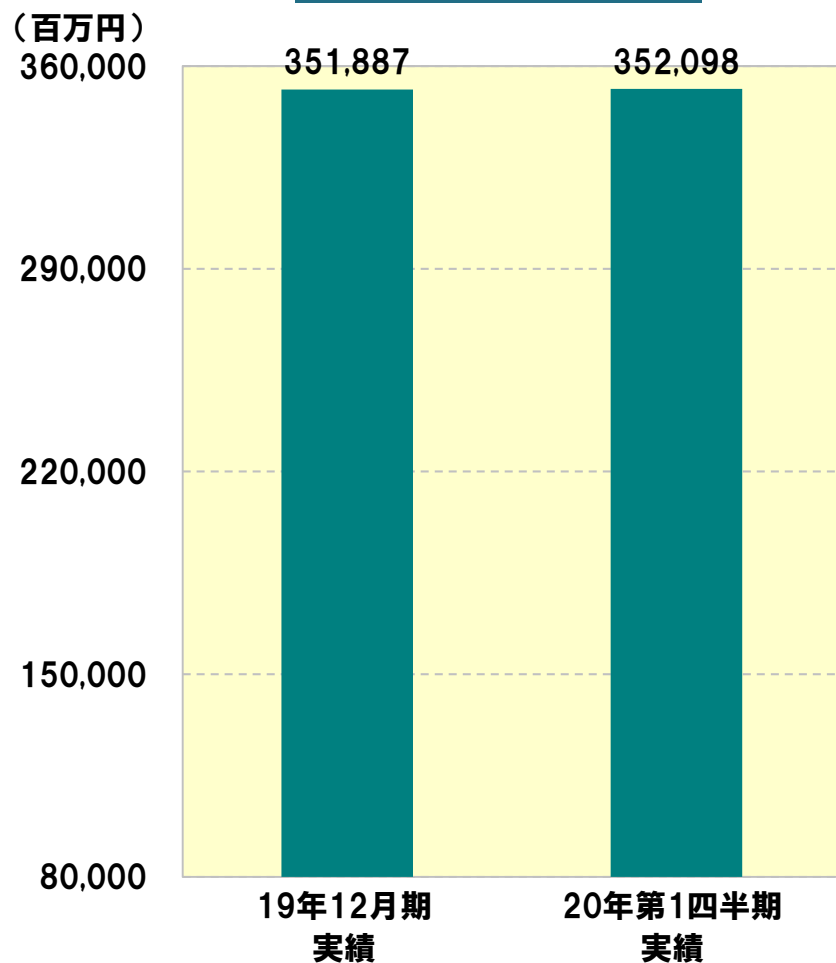
連結貸借対照表

	19年12月期		20年第1四半期		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比増減額 (百万円)
流動資産	281,343	80.0	279,792	79.5	-1,551
（手元流動性）	215,314	61.2	208,088	59.1	-7,225
（売上債権）	31,708	9.0	37,887	10.8	6,179
（たな卸資産）	30,336	8.6	29,956	8.5	-379
固定資産	70,543	20.0	72,306	20.5	1,763
資産合計	351,887	100.0	352,098	100.0	211
流動負債	86,878	24.7	91,447	26.0	4,568
（仕入債務）	16,555	4.7	20,086	5.7	3,531
（前受金）	26,829	7.6	26,416	7.5	-413
固定負債	22,970	6.5	22,727	6.5	-242
負債合計	109,848	31.2	114,174	32.4	4,325
純資産合計	242,038	68.8	237,924	67.6	-4,113
負債・純資産合計	351,887	100.0	352,098	100.0	211
現預金等(長期性預金含む)	215,093		207,873		-7,219

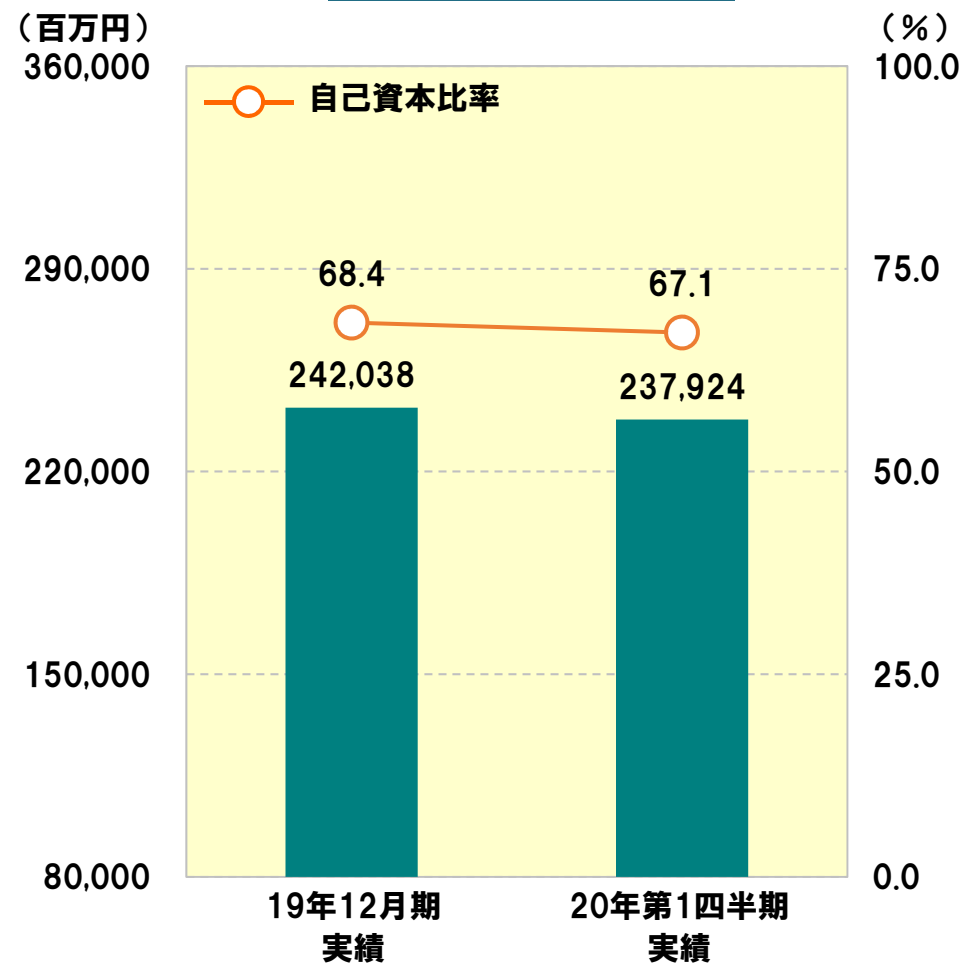


連結総資産額・純資産額の前期末比較

総資産額



純資産額



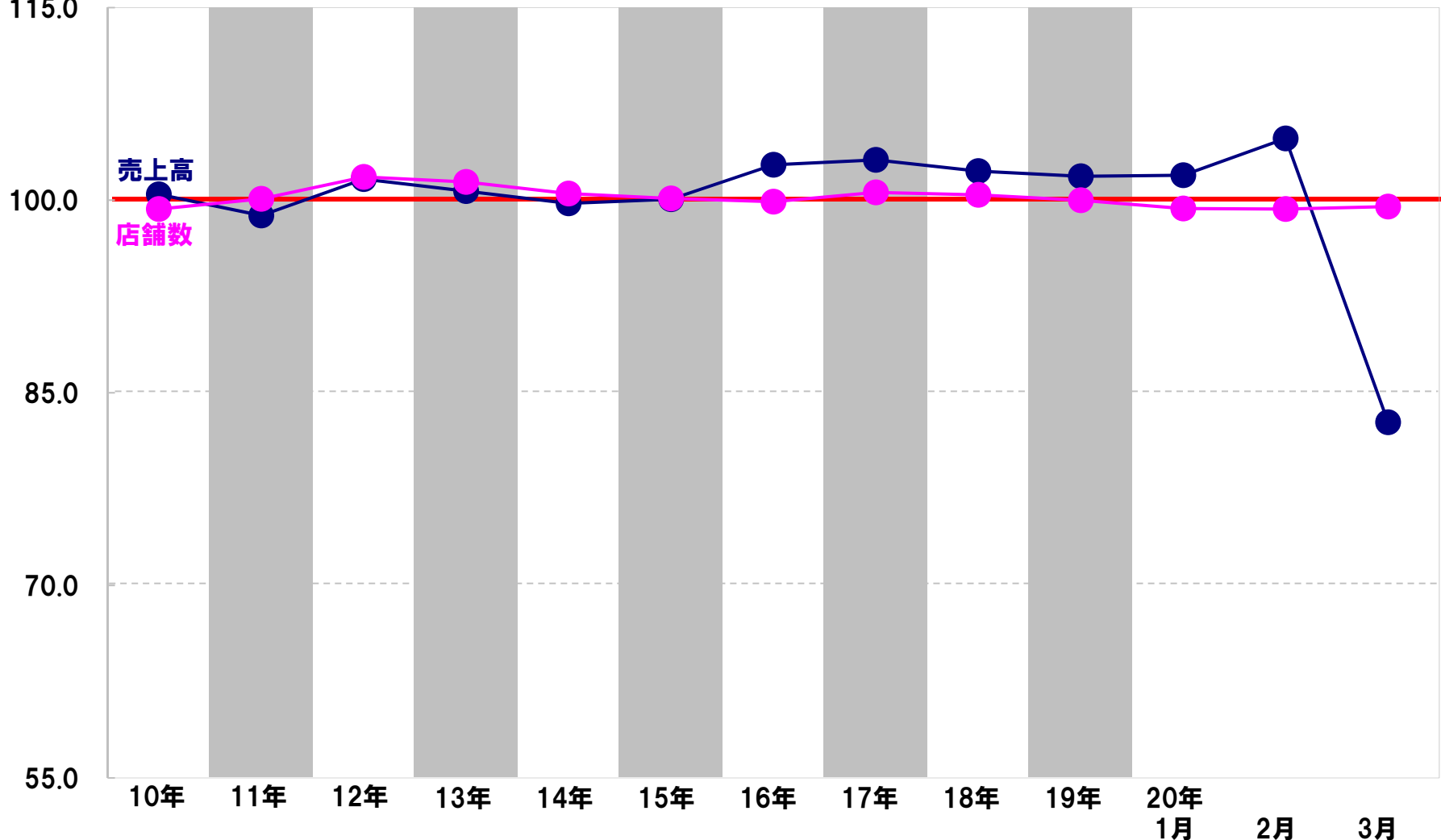


II. 2020年第1四半期 決算のポイント

国内:大手チェーン店 全店売上高・店舗数 前期比/前年同月比

● 2月最終週の政府による大規模イベントなどの自粛要請以降、店内飲食の客数が、繁華街、ディナー時間帯、土日祝日で顕著に減少。3月下旬には、東京都での週末の外出自粛要請が出され、さらに客足が落ちた。それに伴い売上高は大幅に減少。

(%)
115.0

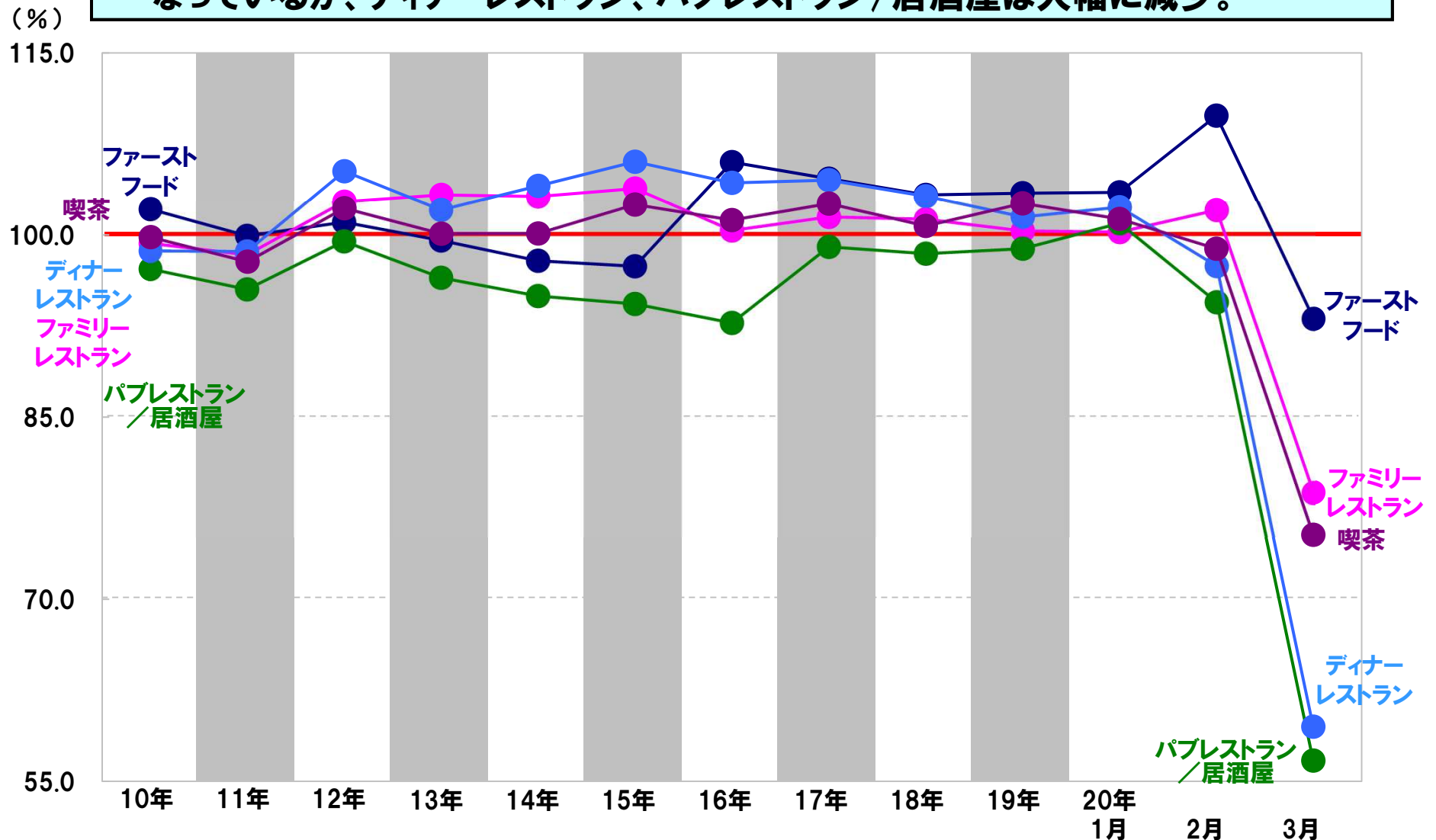


出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内:大手チェーン店 業態別売上高 前期比/前年同月比

● ファーストフードやファミリーレストランの一部はテイクアウト・デリバリーが下支えとなっているが、ディナーレストラン、パブレストラン/居酒屋は大幅に減少。



出典:日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 年間データ」



国内：売上高前年同期比推移

- 20年第1四半期は、販売活動量の回復・値上げ前の駆け込みがあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け減収。

(%)

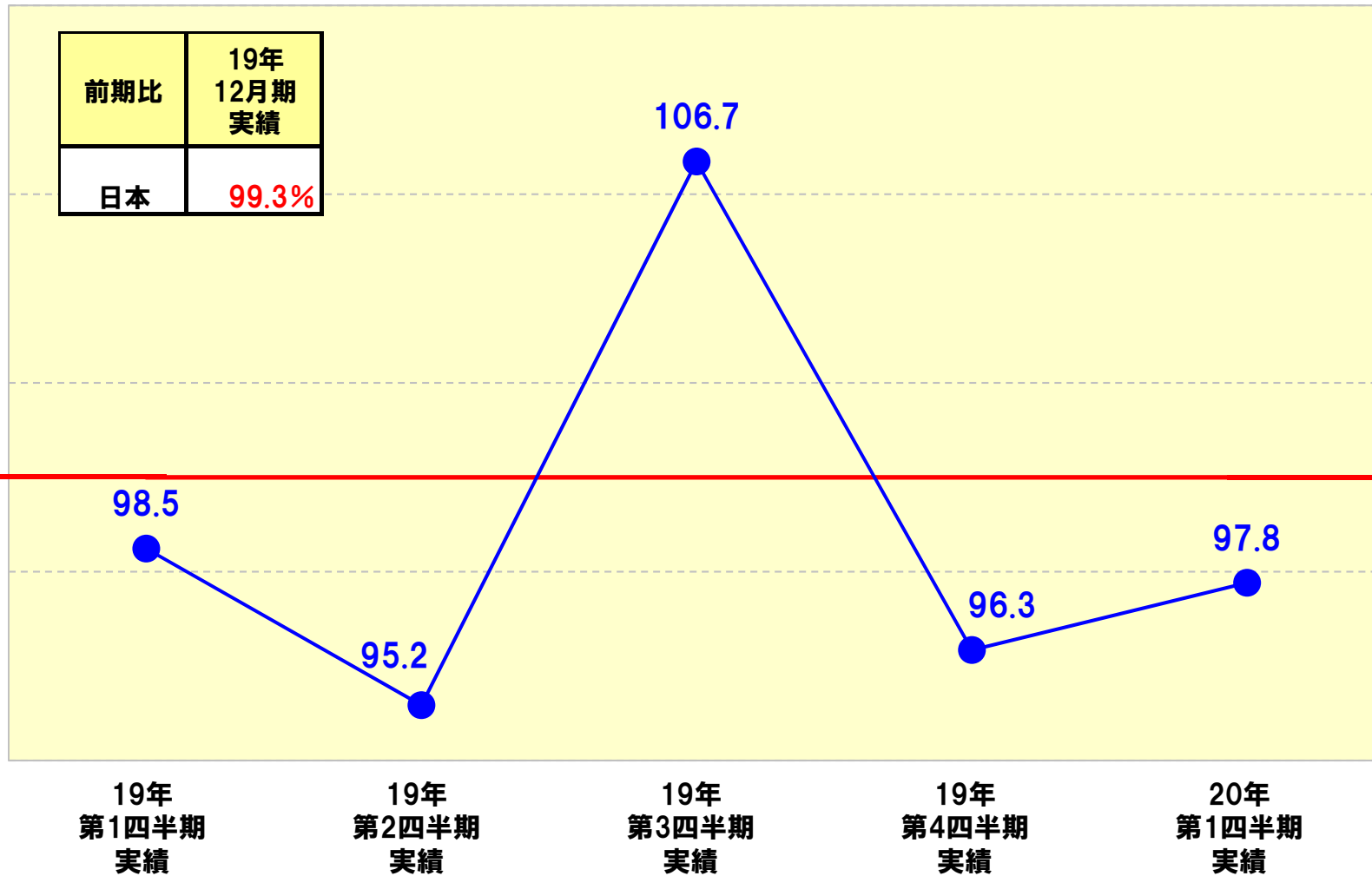
110.0

106.0

102.0

98.0

94.0



国内：収益貢献が期待される新商品及び戦略商品

既存市場の深掘



炭酸水ディスペンサ

- 自動抽出機能による人手不足解消
- 新規設計の抽出ノズルで泡立ちを大幅低減
- 2019年12月発売開始



小形冷蔵ショーケース

- 従来機種より省エネ性能を向上（消費電力量平均39%低減）
- 全機種で省エネ法基準値を達成
- 2020年1月発売開始



スチームコンベクションオーブン

- ハイクラスモデルのラインナップ追加（ホテルパン6段）
- 自動洗浄機能やタッチパネル等、12の新機能を搭載
- 2019年12月発売開始



食器洗浄機(システム洗浄機)

- 食器の洗浄から収納まで自動運転
- 空いている段を自動検知（業界初）
- 洗浄後は人の手に触れず収納（衛生性向上）
- 2019年8月発売開始

新規市場の開拓



プラストチラー

- 20段タイプで自動洗浄機能を搭載し、省人・省力化に対応
- スピーディーコースでは業界最速の洗浄時間を実現（業界初）
- 2019年10月発売開始



とろみ給茶機

- 高齢者でも飲み込めるよう「とろみ」をつけたお茶を抽出。
- ボタン1つで均一なとろみを生成、病院・老健スタッフの作業を軽減。
- 2020年春発売開始予定



デザイン冷蔵庫

- 厨房に「魅せる」要素をプラス
- オープンキッチンを備えた飲食店やホテルへの販売を想定
- 2019年10月発売開始



AGV温冷配膳車

- 無人搬送車を利用した省人化機器
- 病院や介護老人保健施設の食事配膳を自動搬送可能に
- 2020年8月発売開始予定



現在の市況下における期待商品

衛生管理機器

現在注目されているのが衛生管理機器である電解水生成装置。
食塩水を電気分解して生成される次亜塩素酸水（酸性電解水）は、除菌効果があることが実証されている。



電解水生成装置
WOX-40WA

様々な
ところでも
応用可能 →



テーブル

手すり

ドアノブ

蛇口レバー

その他商品

外出自粛の中、テイクアウトを強化する飲食業界において、テイクアウト料理に関連する商品への需要増が期待できる。



ブラストチラー
& ショックフリーザー

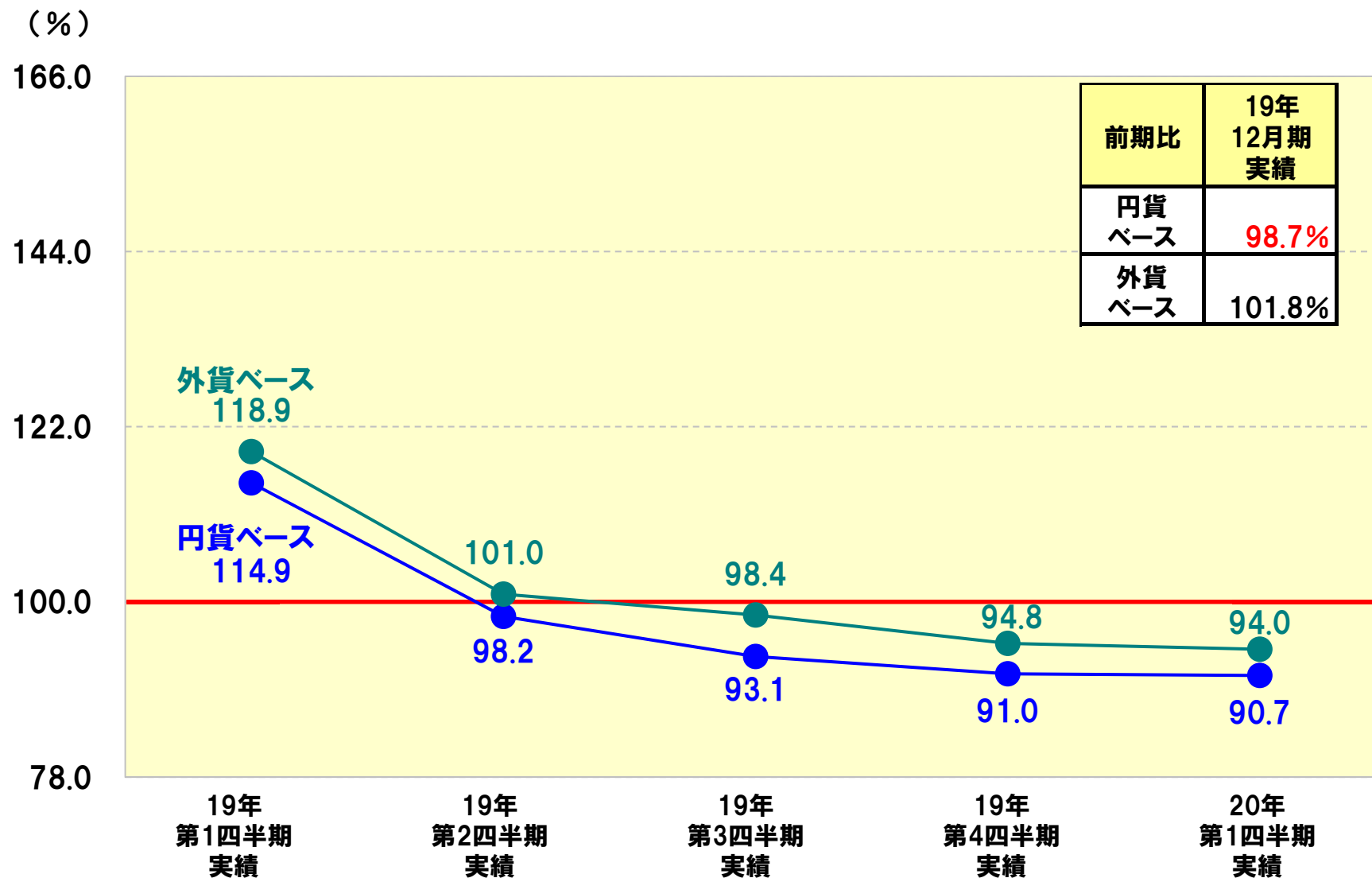


真空包装機

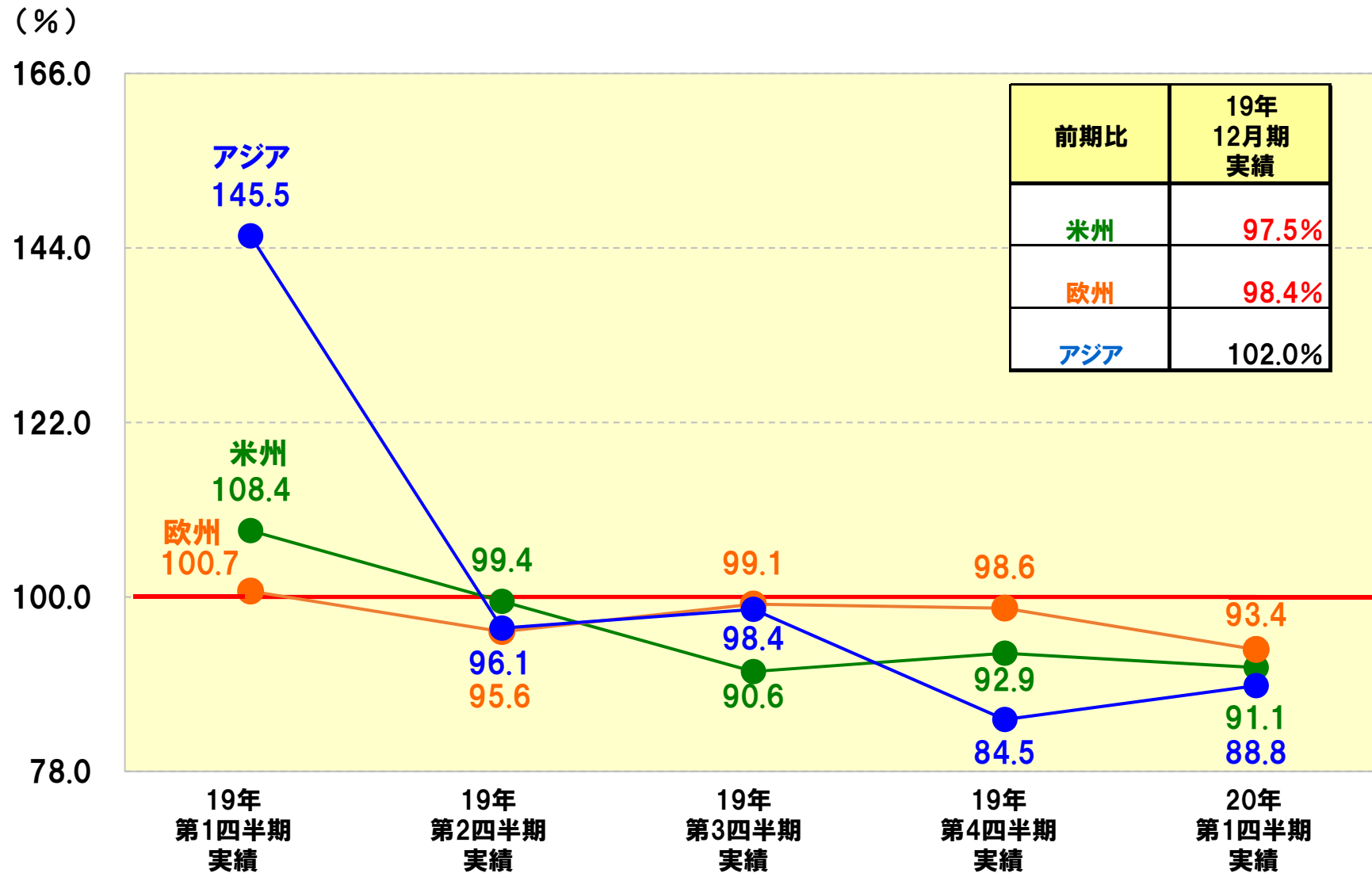


電気フライヤー

海外：売上高前年同期比(円貨・外貨)推移



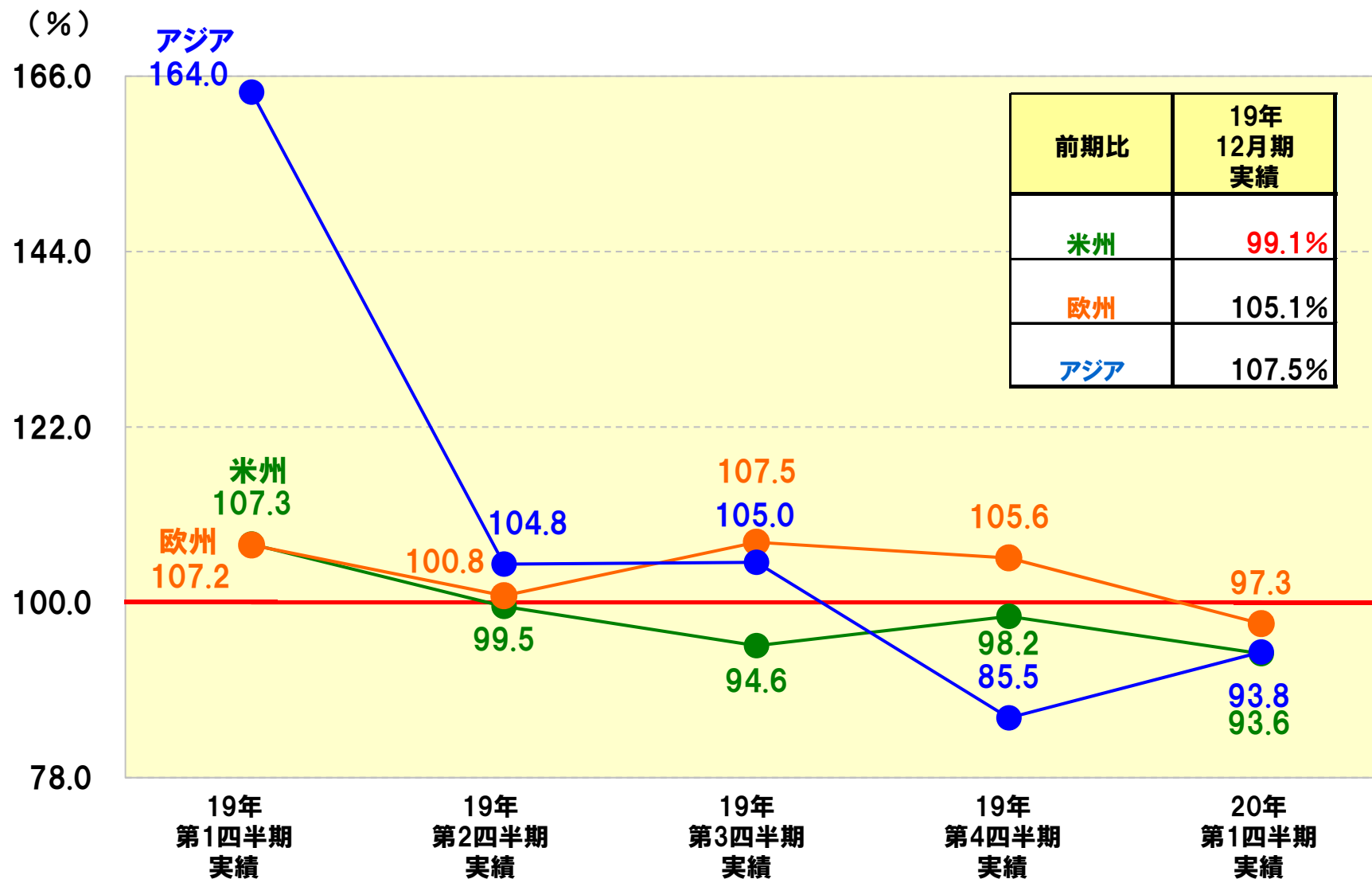
海外：エリア別*売上高前年同期比(円貨ベース)推移



*: 本社所在地エリアで区分(例、ランサー欧州は米州に算入)(=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。



海外：エリア別*売上高前年同期比(外貨ベース)推移



*: 本社所在地エリアで区分(例、ランサー欧州は米州に算入)(=社内経営管理区分であり、有価証券報告書開示区分と同一)。



海外：収益貢献が期待される新商品及び戦略商品

米州



製氷機

- アメリカ市場向けにボールアイス製氷機の発売開始
- ホテル・カジノ向けに製氷機のバリエーションを拡充
- 2020年4月発売開始予定



飲料ディスペンサ

- 1台のディスペンサから同時に2人まで抽出可能
- 266種のドリンクをタッチパネルで選択
- 2018年11月発売開始

欧州



ノンフロン製氷機

- 欧州の環境方針への対応
- 省エネ性に優れ、ランニングコスト業界No.1シリーズのラインナップ拡充
- 新たなノンフロン冷媒採用機種種の拡充



冷蔵庫

- Ozti社(トルコ)のOEM製品
- ボリュームゾーン攻略モデル
- 2017年7月発売開始

アジア



冷蔵庫

- インド市場向け機種
- 効率的な冷気循環や優れた耐久性を実現
- 2019年10月発売開始



食器洗浄機(ドアタイプ)

- 東南アジア向け機種
- 洗浄能力、省エネ性能ともに日本国内同等の高スペックかつ競合優位性のある価格設定を実現
- 2019年8月発売開始





III. 2020年12月期 業績予想

HOSHIZAKI

2020年12月期 業績予想概要

- 新型コロナウイルス感染の収束時期が不透明なことから、現時点では合理的な業績予想の算定が困難。そのため、2020年12月期連結業績予想を未定とし、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表する。

	19年12月期 実績		20年12月期 業績予想 (20.2.10)		20年12月期 業績予想 (20.5.11)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	290,136	100.0	302,500	100.0	-	-
売上総利益	109,464	37.7	116,000	38.3	-	-
販売費及び一般管理費	76,799	26.5	80,000	26.4	-	-
営業利益	32,664	11.3	36,000	11.9	-	-
経常利益	34,224	11.8	37,800	12.5	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	24,437	8.4	26,300	8.7	-	-

【参考】各地域の主な生産・販売拠点の状況

- 国内販売会社は、活動が制限されるものの在宅にて稼働。
- 海外の生産停止拠点は、他工場からの代替調達や在庫の再配置により、影響を最小化。
- 以下の生産及び販売拠点以外は、各国政府方針及び感染防止対策のもと、通常稼働。

拠点名	セグメント (所在国)	状況
国内販売会社	日本 (日本)	緊急事態宣言が発令された都道府県から 順次営業・サービスが在宅勤務
HOSHIZAKI AMERICA, INC.	米州 (米国)	生産停止(3月26日～4月27日)
HOSHIZAKI EUROPE LIMITED	欧州・アジア (英国)	生産停止(3月24日～4月19日)
Western Refrigeration Private Limited	欧州・アジア (インド)	生産停止(3月23日～5月上旬)
欧州及び東南アジアの販売会社	欧州・アジア	3月から5月にかけて在宅勤務



IV. 会社概要・事業内容

会社概要

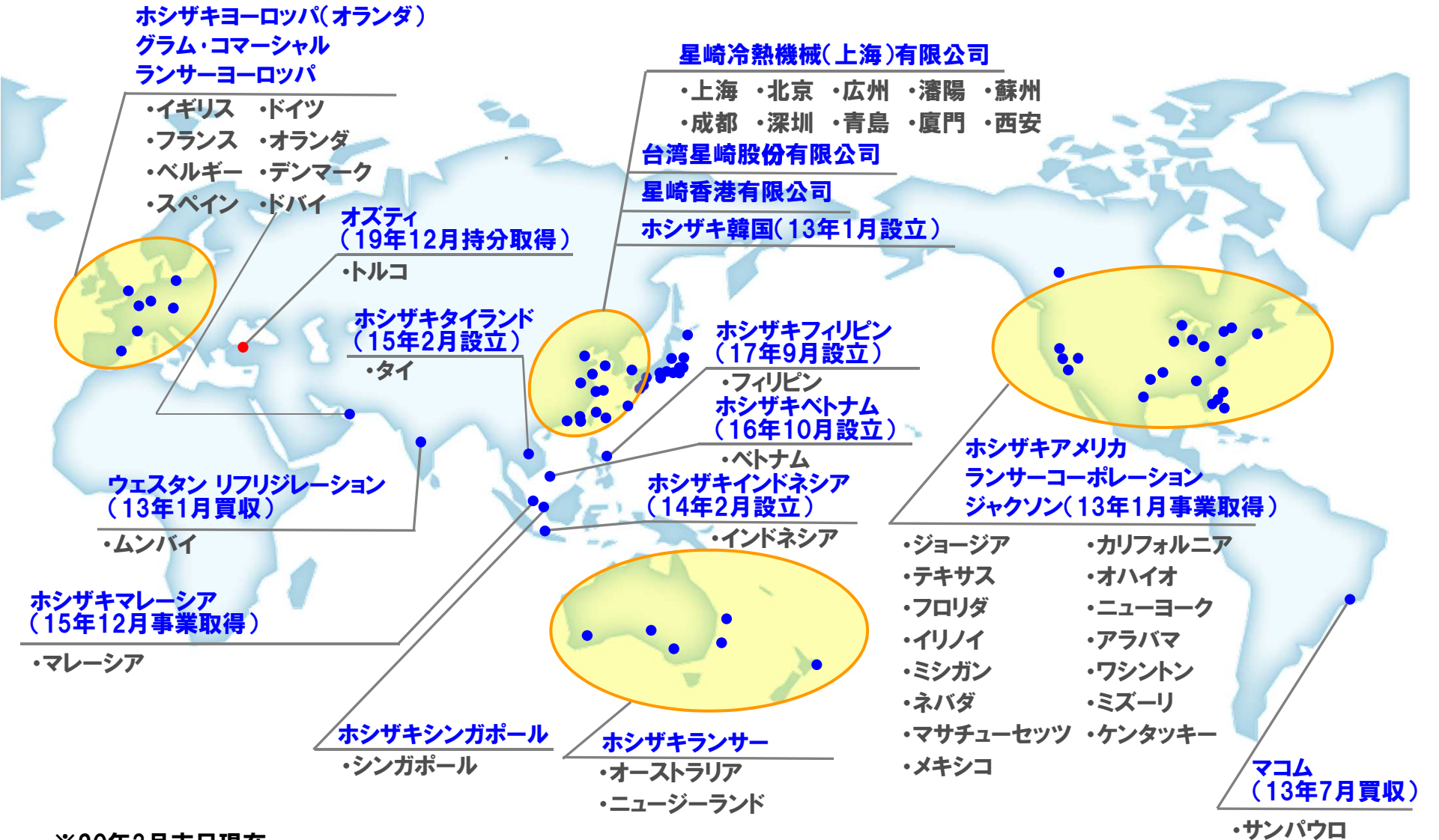
- 社 名 : ホシザキ株式会社
- 本 社 : 愛知県 豊明市 栄町南館3-16
- 代 表 者 : 代表取締役社長 小林靖浩
- 設 立 : 1947年2月
- 事 業 内 容 : フードサービス機器の研究開発、製造、販売及び保守サービス
- 資 本 金 : 8,021百万円(2020年3月末現在)
- 業 績
 - ・売上高 290,136百万円
 - ・営業利益 32,664百万円
 - ・当期純利益 24,437百万円

(2019年12月期連結)

(※当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益)
- 連結グループ会社 : 51社(国内18社、米州13社、欧州・アジア等20社)
(2020年3月末現在、ホシザキ含む)
- 社 員 数 : 1,170名(個別)、12,905名(連結)
(2020年3月末現在)
- 営 業 拠 点 数 : 436ヶ所
(2020年3月末現在)



海外：グローバル販売ネットワーク



※20年3月末日現在。



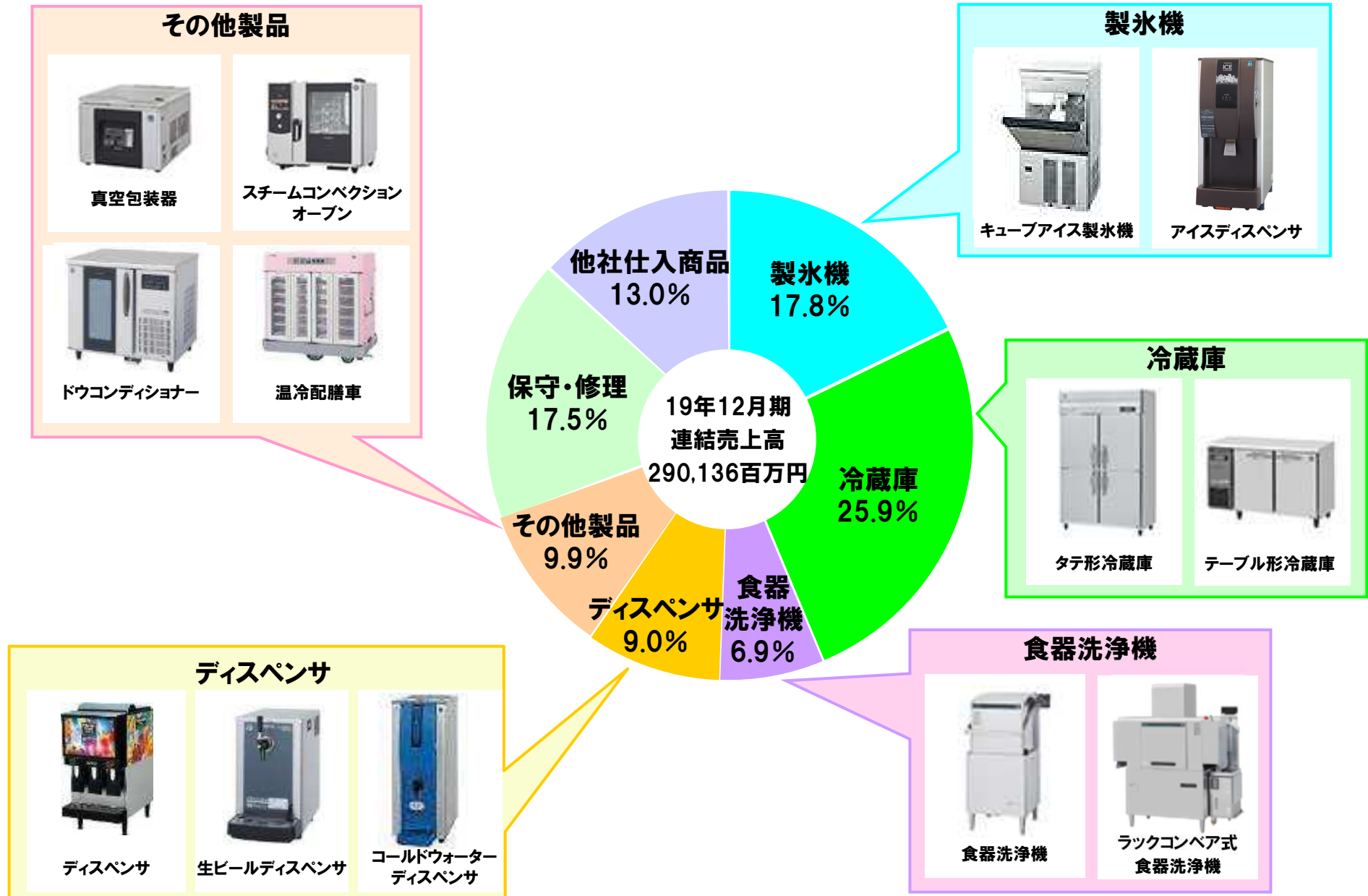
グローバルネットワーク(生産・販売拠点)



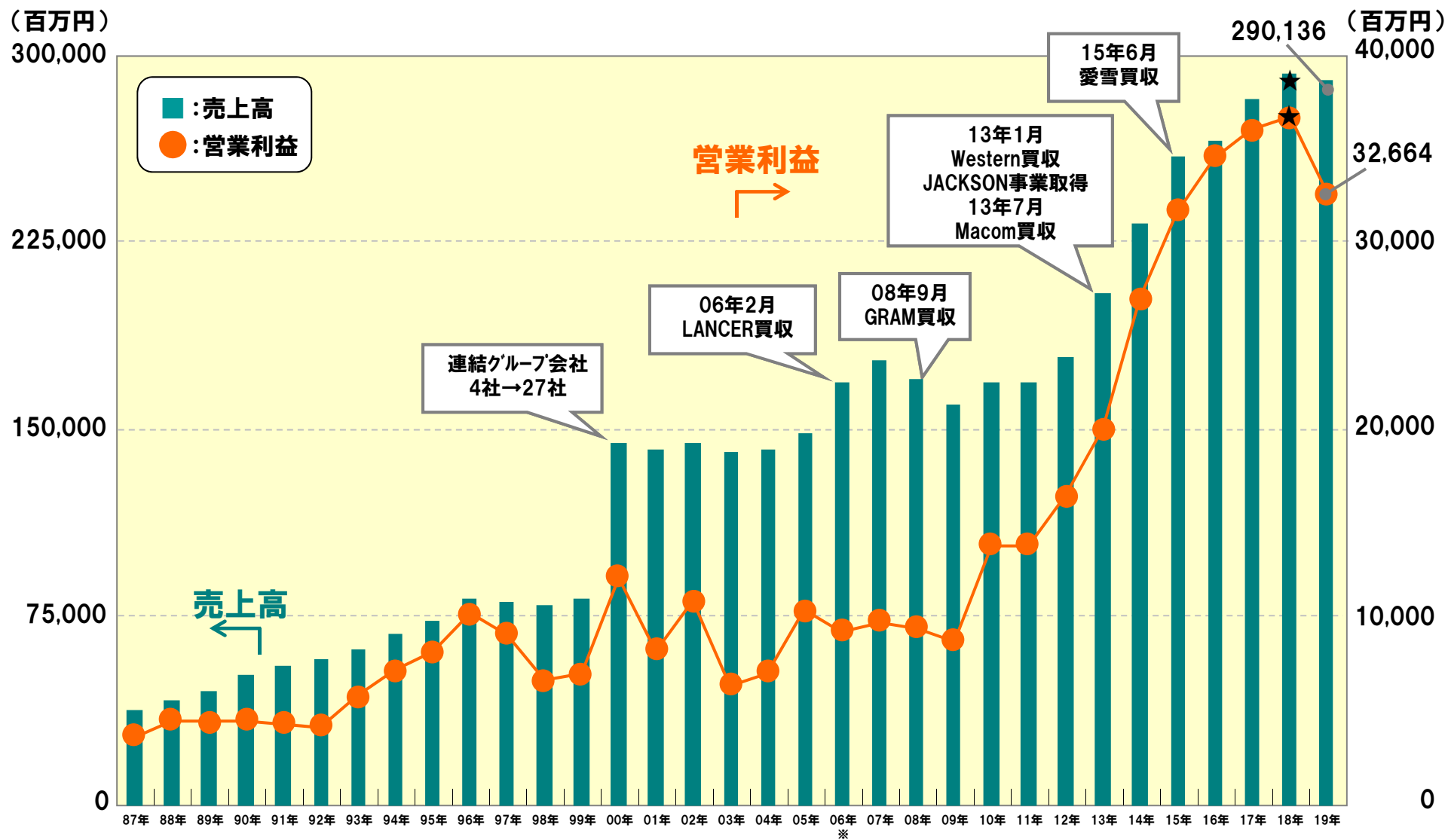
※20年3月末現在。



主要製品群と売上高構成



長期業績推移(連結)



本資料における注意事項等

- 本資料にはホシザキ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述及び資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述及び資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び弊社IRに関するお問い合わせ先】

ホシザキ株式会社 経営企画部

TEL (0562)96-1320

URL <http://www.hoshizaki.co.jp/>

